

ひょうご健康的な食環境づくりプロジェクト

高齢者のみならず、**全ての世代を包括した健康増進対策**により、**健康的で持続可能な社会**を構築することが重要です。

1

食塩摂取量が
多く目標値を
3g上回る

2

全国と比べ**大腿
骨骨折発生率**が
男女とも高い

3

高齢者の**フレイル**
認知度が低く
低栄養傾向者が多い

4

食生活改善に
**関心無し・改善意欲
無し**の人が多い

5

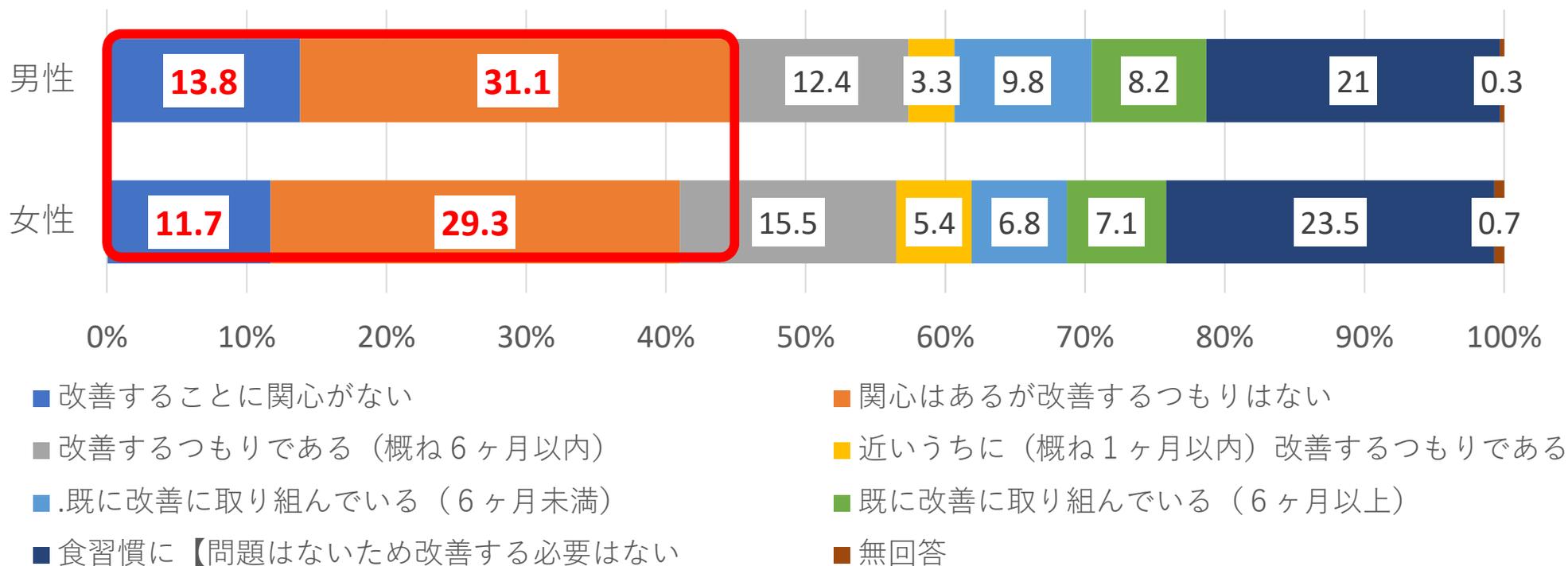
若年**女性の
やせ**が多い

食環境づくりに取り組む理由

4 食生活改善に**関心無し**・**改善意欲無し**の人が多い

食生活改善について「関心が無い」「改善するつもりはない」と回答した人は、男性42.9%、女性41.0%。関心が薄い層へのアプローチ方法が課題といえる。

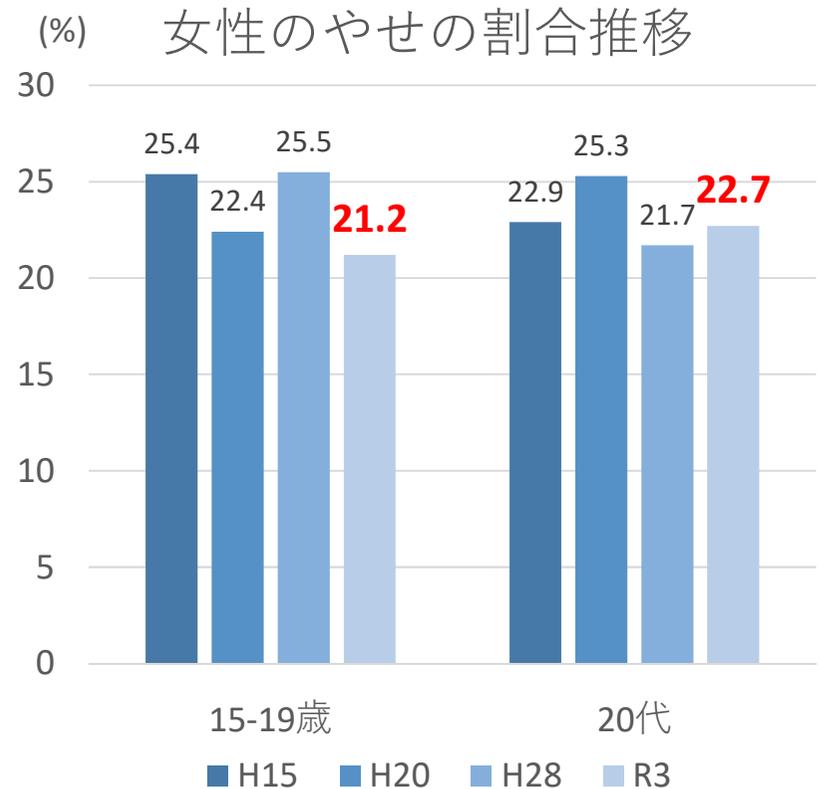
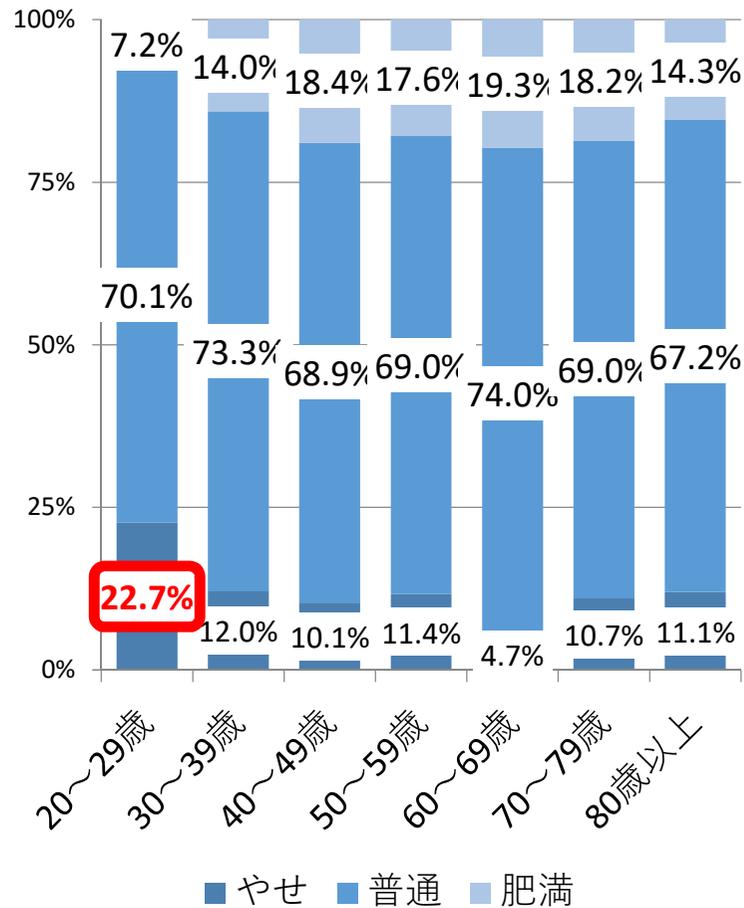
食習慣改善の意思 (20歳以上、性別)



食環境づくりに取り組む理由

5 若年女性のやせが多い

やせ(BMI18.5未満)の女性は、20歳代が最も多く22.7%。全国値20.7%(R1:年齢調整無)を上回っている。10代後半の女性も全国値21.0%を上回っている。



ひょうご健康的な食環境づくりプロジェクト



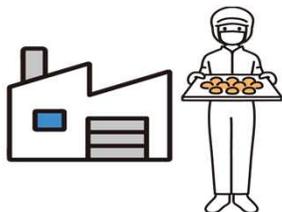
～安心して長生きできる 健康的で持続可能な社会～

年齢、性別、経済状況、健康関心度等にかかわらず、誰もが自然に健康的な食品に手が伸び、**健康が身近である社会**をつくることにより、**健康寿命(平均自立期間)が延伸すること**を目標に活動します。

産学官と消費者(県民)による協働

兵庫県の健康課題

減塩 | フレイル予防 | 栄養バランス | 若い女性のやせ



食品製造・配食事業者

開発

塩分控えめ加工食品、たんぱく質が十分にとれる惣菜栄養が十分に配慮した弁当等



流通事業者

販促

商品パッケージ・ポップによる訴求、従来品と同等価格の設定等



消費者

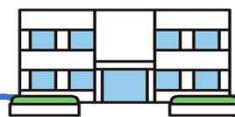
活用

理念を受け取る商品やサービスを、総合的に評価する取組みに対する興味関心の芽生え

主体的で豊かな食・健康につながる情報共有

学識・関係団体・県

プロジェクトの推進を支援



客観的な視点から信頼性のある情報を生活者へ発信、多面的な情報を各方面の事業者へ紹介等



健康的な食品に手が伸び
意識なくても健康に

		現状	目標
健康	男	80.41歳	81.16歳
寿命	女	84.93歳	85.68歳

メディア



事業者の多面的な活動

各社が策定した行動目標に沿って
推進

知らずに控えめ
塩分-1g



イベントの企画・実施
(事業者マッチング、県民向けイベント、実証事業)

たんぱくしっかり
キャンペーン



たんぱく30g
たんぱく20g
たんぱく10g

交流会・勉強会の開催
(ESG、健康、SDGs等)

登録事業者
限定セミナー



異業種と交流

令和6年度の活動

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
運営会議		第1回				第2回			
意見交換会	意見 交換会			意見交換会 (イベント準備)					
セミナー キックオフイベント		セミナー							キックオフ イベント
事業者募集			第2期			第3期			

運営会議 組織運営のため、国の健康政策や事業者連携等に関し知見を有する方へ出席を依頼

意見交換会 セミナー、イベントなどの企画調整、開催

事業者募集 理念に賛同し活動する事業者の募集(相談は随時受付)

ひょうご健康的な食環境づくりプロジェクト ロジックモデル(案)

